

VGC-3362 (H) +VKC-2862 (H) 型-L (単棟)

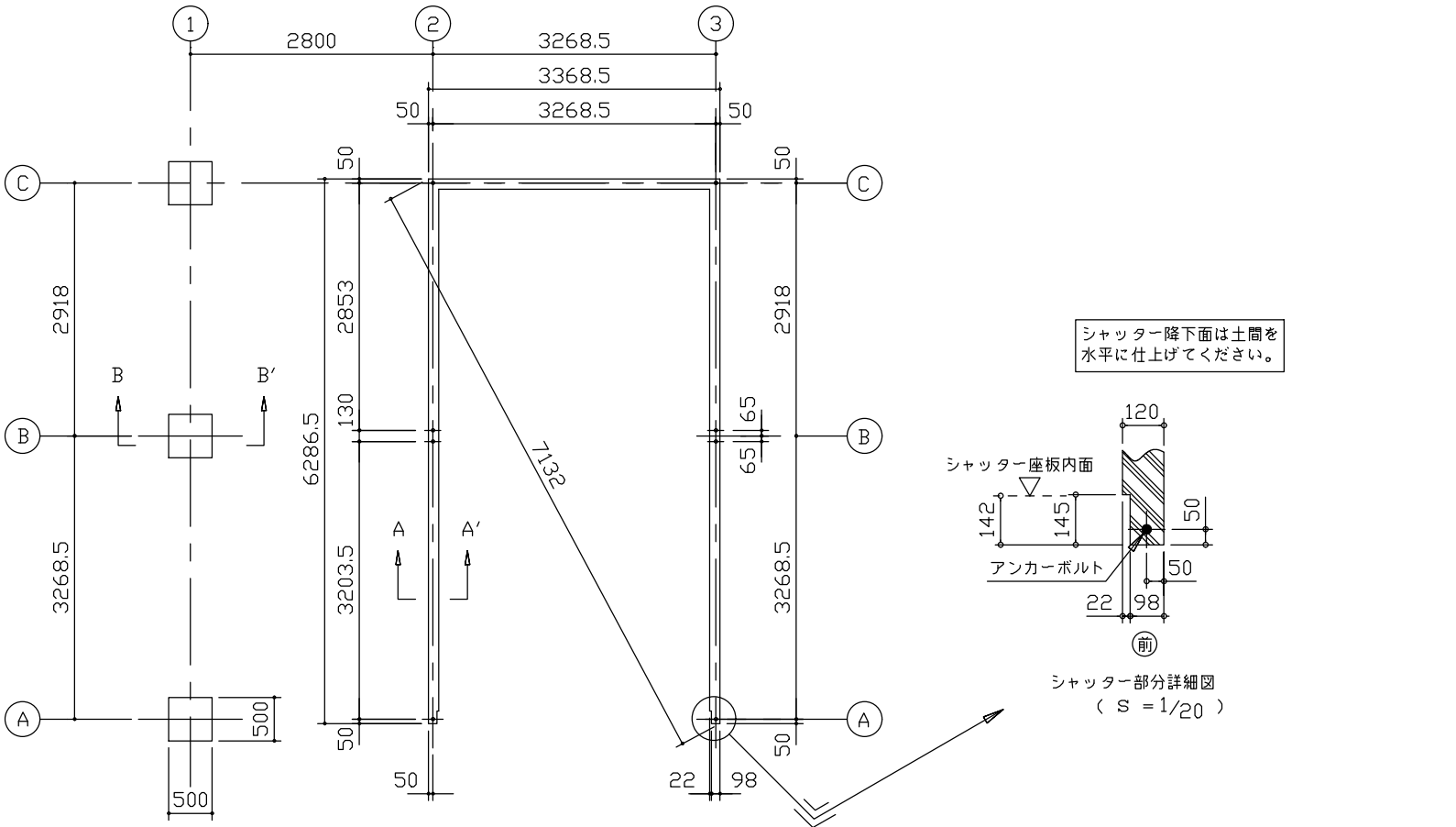
建築面積	37.54m ² (11.36坪)	(間口柱芯寸法) × (奥行柱芯寸法)
------	------------------------------	---------------------

構造耐力上主要な部分の部材

部 材 名	形 状	板 厚	使用材料	有効細長比
前 柱	□-85 × 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	70.0
後 柱	□-115 × 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	55.0
中 柱 (左右)	□-85 × 84	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	76.6
桁 前	⌒-336.5 × 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁 中	⌒-182.5 × 79	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁 後	⌒-155 × 85	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
壁パネル	⌒-25 × 701(350.5)	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
ブレース	――	7.0φ	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
ターンバックル	――	7.0φ用	JIS A5541建築用ターンバックル胴 STKM	
アンカープレート	――	6.0mm 9.0mm	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
桁前(P)	⌒-228 × 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁(P)	⌒-186.5 × 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
梁(P)	⌒-287.5×139	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
前柱(P)・後柱(P)	□-85×118	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	165.9
中柱(P)	□-85×145	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	151.5

構造耐力上主要な部分以外の部材

部 材 名	形 状	板 厚	使用材料
上 枠	⌒-430 × 55	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
下 枠	⌒-81 × 64	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
中柱カバー	⌒-26 × 145	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
間 柱	⌒-31 × 24	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
屋 根	⌒-88 × 600	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	⌒-14.5 × 71	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
鼻 隠 し 前	⌒-130 × 113	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
鼻 隠 し 後	⌒-122 × 48	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 (ツートンカラー)
ケ ラ バ	⌒-130 × 135.5	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 (ツートンカラー)



布基礎伏図 (S=1/80)

・布基礎断面図 縮尺=1/20

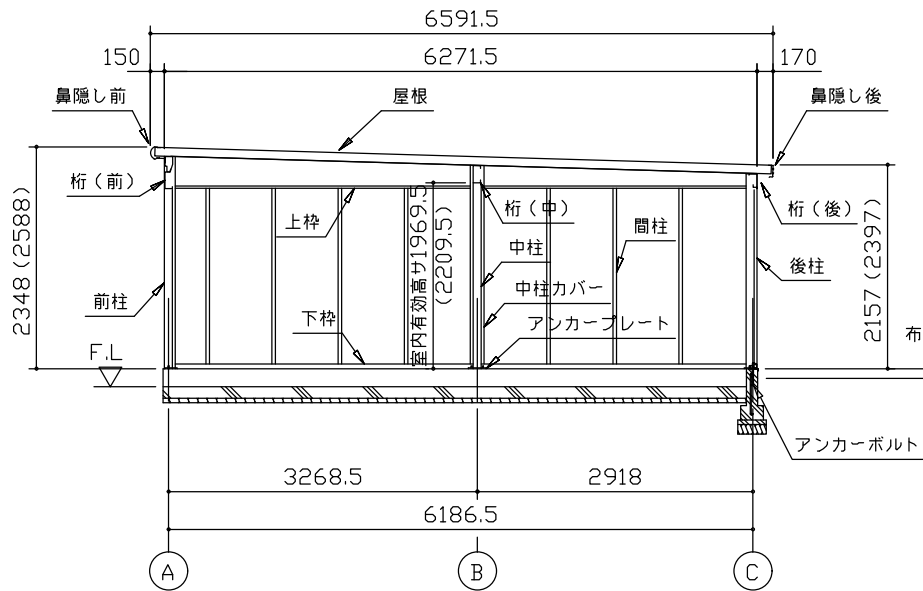
(地耐力 50kN/m²以上,コンクリート設計基準強度 18N/mm²以上)
(基準風速 34m/s, 地表面粗度区分Ⅱ)

＜上記条件での参考図です。＞

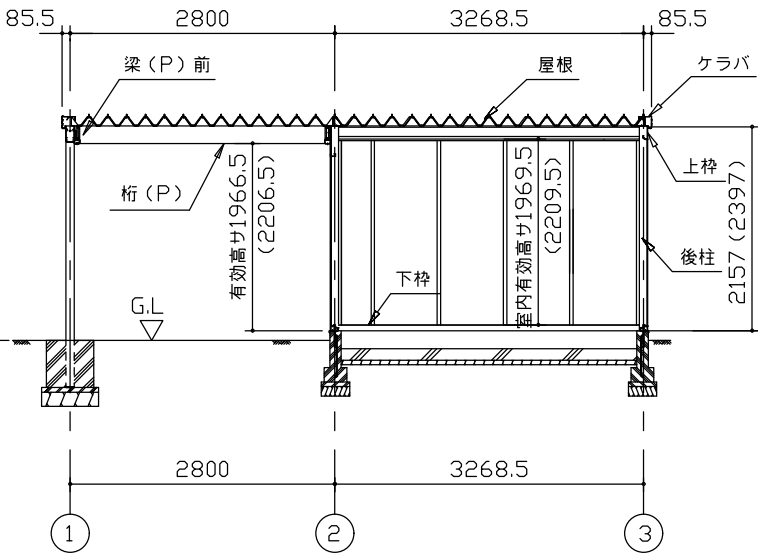
注1)地耐力が 50kN/m² 未満 (30kN/m² 以上) の場合は、地耐力に応じた基礎を設計して下さい。

注2)寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。

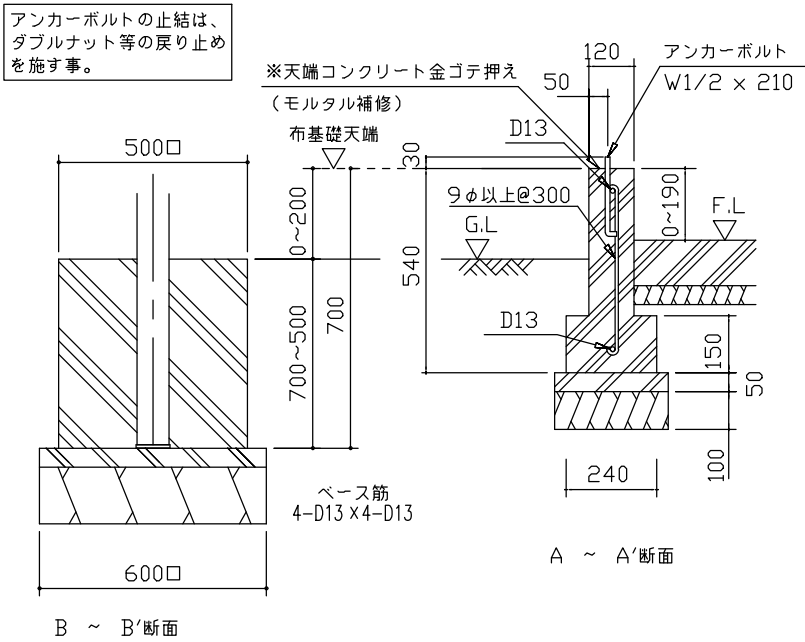
注3)その他現地の実情にあわせて設計して下さい。



側面断面図 (S=1/80)



正面断面図 (S=1/80)



B ~ B'断面

名 称	ヨドガレージ ラヴィージュⅢ	株式会社 ヨドコウ
機種名	VGC-3362 (H) +VKC-2862 (H) 型-L (単棟)	